

事業番号	05 08 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課		
		実施期間	S26 ~	E-mail	kansen@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑦健康長寿日本一を維持						
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実						

## 1 事業の概要

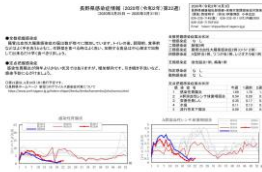
事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	<b>【現状】</b> ・新型コロナウイルス感染症については、感染拡大の懸念や危機感が強まっている。引き続き、感染症の拡大防止に努めることが必要。 ・感染症が発生した際の県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進。 ・必要な検査機器等の設備を整備することによって体制強化を図り、今後の感染症発生に備える。 ・宿泊療養施設については、4か所で375人の陽性者を受け入れる体制を確保してきたが、今後の感染拡大に対応した体制強化が必要。 ・自宅療養者については、各保健所において健康観察を実施してきたが、今後の感染拡大に対応した体制強化が必要。
	<b>【目指す姿】</b> 感染症が発生した際の拡大防止を図り、県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進していく。 また、感染症にかからないための予防啓発も引き続き実施していく。 併せて、東信・中信・北信・南信地域に開設している宿泊療養施設において、932室を確保し軽症者等を受け入れる体制を確保していく。
	<b>【実施内容】</b> ・感染症の流行状況を調査し公表 ・感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施 ・軽症者等療養体制の整備

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	結核罹患率	-	7.6	6.7	↑	5.1	↑	10以下	達成
2	感染症指定医療機関の数(現状維持)	所	11	11	→	11	→	11	達成
3	麻しん風しんの2期定期接種率	%	94.9	95.0	↑	94.5	↓	95.0以上	未達成
4	療養者用宿泊施設における確保室数	室	—	375	—	932	↑	932	達成
5									


区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額		145,857	2,491,247
	当初予算額	363,874	364,736	16,203,885
	補正予算額	344,017	28,298,665	40,337,247
	合計(A)	707,891	28,809,258	59,032,379
	うち一般財源	429,140	786,379	4,701,743
決算額(B)		366,282	23,532,714	42,551,450
職員数(人)		4.0	4.0	55.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.接触者検診の実施などにより、結核の早期診断、感染拡大防止に努め、低蔓延状態とされる罹患率10以下を維持する。 2.感染症指定医療機関を維持し、必要な備品等の整備を促進することにより、万が一の感染症発生に備える。 3.風しんに関する特定感染症予防指針に定める接種率目標である95%以上とし、麻しん・風しんの発生を予防する。 4.感染状況に応じた宿泊療養体制を整備することを踏まえ、宿泊施設における確保室数を成果目標に設定。 5.
達成状況の分析	1.新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少が、罹患率低下の要因の1つと考えられる。 2.感染症指定医療機関を維持したことにより、新型コロナウイルス感染症の拡大時においても広く対応できた。 3.新型コロナウイルス感染症が流行したことで、接種の見合せや予定した日に接種ができない等の理由により、接種率が低下した可能性がある。 4.療養者用宿泊療養施設における確保室数は932室となり目標を達成した。 5.

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓感染症の流行状況を調査し公表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関等の協力を得ながら週報及び月報により情報を提供 感染症情報(週報52週、月報12週)</li> </ul> </li> <li>✓感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全研究所における行政検査の実施</li> <li>・各保健所における性感染症等の検査・相談事業の実施</li> <li>・啓発パンフレットの作成</li> </ul> </li> <li>✓新型コロナウイルス感染症に係る診療・検査体制及び医療提供体制の維持 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間検査機関等による行政検査の実施</li> <li>・医療機関における検査の患者自己負担分助成</li> <li>・患者受入医療機関への病床確保料支払い</li> <li>・相談窓口、外来・検査センターの継続</li> </ul> </li> <li>✓新型コロナウイルス感染症軽症者等療養体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽症者等が宿泊・自宅療養するために必要な体制の整備</li> </ul> </li> </ul>
------	---



【感染症公表資料】



【環境保全研究所での行政検査の様子】

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症については、変異株の脅威など新たなファクターを考慮する必要があるため、県民の命と健康を守るために柔軟な対応を行っていく必要がある。</li> <li>・多数の新規陽性者が発生していることから、今後も感染状況に対応した療養体制を維持することが必要。</li> <li>・一方で、新型コロナウイルス感染症対応のために縮小した業務についても、アフターコロナを見据えて段階的に従前の規模に戻していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況のほか、変異株の発生動向、ワクチン接種の進捗状況、治療薬の普及状況等を踏まえ、必要な検査体制・療養体制の整備・維持に努める。</li> <li>・今後、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが見直された場合には、検査及び療養に係る国の方針が変更されることが想定されるため、引き続き動向を注視してまいります。</li> <li>・国の方針変更に伴って保健所における新型コロナウイルス感染症への対応を変更する場合、既存業務の実施内容等についても併せて検討していく。</li> </ul>

事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課
-----	---------	----	-------	-----	--------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	感染症対策事業	101,472 千円	22,600,974 千円	36,800,446 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	PCR検査体制強化事業	委託	医療機関における検査の患者自己負担分助成及び行政検査の民間検査機関等への委託を実施(患者自己負担分助成実績:233,319件595,607千円、行政検査委託実績:169,494件1,406,901千円、ゲノム解析委託実績:274件10,094千円、その他検査委託実績:3,791件24,213千円)
2	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の患者受入病床を確保する医療機関に対し、病床確保料を助成。(実績:50医療機関、19,609,422千円)
3	新型コロナウイルス感染症相談窓口事業	委託	相談先医療機関の案内等を目的とした「受診・相談コールセンター」の業務及び新型コロナウイルスワクチン接種に係る専門的相談対応業務を委託により実施。(受診・相談:129,699件、ワクチン相談:30,096件)
4	新型コロナウイルス感染症相談窓口事業	直接	受診・相談コールセンターでは困難な事案に対応するため、保健所に相談体制を構築。(看護職雇用人数:延べ3,280人日)
6	新型コロナウイルス感染症外来・検査センター運営事業	委託	診察及び検体採取を集中的に行う「新型コロナウイルス感染症外来・検査センター」を、郡市医師会等に委託して県内各圏域ごとに設置。(県内13か所)
7	新型コロナウイルス感染症対応設備等維持事業	補助金	外来・検査センターや県内医療機関におけるユニットハウス等のリース料など、新型コロナウイルス感染症の診療・検査体制の維持に係る費用を助成。
8	新型コロナウイルス感染症対策に係る医療人材確保・派遣等支援事業	補助金	①医師の感染、専門的な事案などへの対応のため、スタッフの派遣を行った医療機関に対して係る経費を助成。(R3活用実績なし) ②患者対応により帰宅できない医療従事者のために宿泊施設を確保した医療機関に対して係る経費を助成。(R3活用実績:18機関 61,854千円)
9	ワクチン接種体制構築事業	直接	医療関係団体と連携して、県や市町村の設置する新型コロナワクチン接種会場に従事する医療従事者の確保・斡旋を行い、県下のワクチン接種体制の円滑な構築を図った。(マッチング件数:医師1,365件、歯科医師292、看護師3,501件、薬剤師1,322件)
10	感染症対策協議事業	直接	感染症対策懇談会の開催(新型コロナウイルス感染症拡大のため未開催)
11	感染症健康診断事業	直接	426検体の検査を実施
12	感染症入院医療費負担事業	直接	・感染症患者を指定医療機関へ移送する体制を整備。(消防および委託業者等による搬送:313件) ・感染症法に基づき医療費を公費負担。(新型コロナウイルス感染症の医療費実績:404,414千円)
13	予防接種対策事業	負担金	予防接種により健康被害を受けた者に対し、医療費、障がい年金等を負担した。(4件)
14	予防接種対策事業	補助金	骨髄移植等により免疫消失した児に対するワクチン再接種費用を助成する市町村に対し、その費用の一部を負担した。(9市町村13件)
15	予防接種対策事業	委託	予防接種センター事業を実施した。(委託先:長野県立こども病院)
16	新型インフルエンザ等対策推進事業	直接	インフルエンザの検査検体が少なく、検体からウイルスが分離されなかったため、薬剤耐性の確認検査を行えなかった。そのため、新型インフルエンザ対策としての検査試薬は未購入。

事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課
-----	---------	----	-------	-----	--------

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
17	風しん抗体検査事業	委託	安心して妊娠・出産できる環境づくりに資するため、妊娠を希望する女性等を対象に、風しんの抗体検査を実施。(169件)
18	新型コロナウイルスワクチン接種会場設置運営事業	委託	県が運営する集団接種会場を設置することにより、市町村による新型コロナウイルスワクチンの接種を補完し、県全体の接種の加速化と円滑化を図った。(延べ会場数:17会場、延べ開設日数:381日、高齢者施設への巡回接種:12施設)
19	新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業	直接	個別接種に協力いただく医療機関に対して、期間当たりの接種回数に応じた協力金を支給することにより、新型コロナウイルスワクチン接種を促進した。(支給実績:1,198件、支給総額3,248,766,180円)
20	新型コロナウイルスワクチン接種会場への医療従事者派遣事業補助金	補助金	時間外又は休日に新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場に医療従事者を派遣した医療機関へ経費を助成することにより、ワクチン接種のための医療従事者確保が困難な地域におけるワクチン接種の機会を確保した。(支給実績:104件、支給総額:37,510,000円)
21	新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業	補助金	新型コロナウイルス感染症患者向けの入院病床を確保している医療機関のうち、高度医療を提供する医療機関に対して設備整備費を助成。(R3設備整備実績 :41機関 2,248,553千円、R2からの繰越:20機関 1,804,187千円)
22	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業	補助金	新型コロナウイルス感染症患者向けの入院病床を確保している医療機関に対して設備整備費を助成。(R3実績:45機関543,018千円、R2からの繰り越し:6機関147,380千円)
23	救急・周産期・小児医療機関に対する設備整備等支援事業	補助金	新型コロナウイルス感染症が疑われる者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関において、院内感染防止に係る設備整備費等を助成。(設備整備等実績:R3:30機関331,990千円、R2からの繰越:7機関506,750千円)
24	感染症検査機関等設備整備事業	補助金	COVID-19に係る検査を実施する民間検査機関等に対し、検査機器整備費助成を実施。(38機関267,057千円)
25	新型コロナウイルス感染症重症化予防促進事業	補助金	新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関に対し、新型コロナウイルス感染症患者の重症化予防のために購入した酸素療法に用いる機器の費用を助成。(R3実績:34機関101,353千円)
26	新型コロナウイルス感染症重症化予防促進事業	直接	総合リハビリテーションセンターにおいて、新型コロナウイルス感染症重症化予防のための酸素療法に用いる機器を購入。
27	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関施設整備事業	補助金	新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関に対し、新たな病床確保(重症1床以上、中軽症3床以上)のための施設整備費を助成。(6病院、56,985千円、確保病床:重症1床・中軽症32床)
28	抗原簡易キットを活用した陽性者の早期発見促進事業	直接	陽性者の早期発見を図るため、抗原簡易キットを配布。(54市町村へ132,720個配布)
29	ワクチン・検査パッケージ定着促進等事業	補助金	ワクチン・検査パッケージや民間の独自の取組のために、健康上の理由等によるワクチン未接種者が受ける検査及び感染拡大傾向時に無症状であっても検査を受けることを知事が要請し住民が受ける検査の無料化を実施。(検査件数:52,596件、補助額:425,954千円)
30	専門家懇談会設置事業	直接	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、専門家懇談会を設置し、専門的な助言や意見を聴取。(45回開催)
31	感染症指定医療機関補助事業	直接	感染症指定医療機関(第一種:1病院、第二種:1病院)の運営費に対して補助を実施。
32	新型コロナウイルス感染症後方支援医療機関確保事業	直接	新型コロナウイルス感染症回復患者を、新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関から受け入れた医療機関や自院の受入病床から一般病床から転床させた医療機関に対し、協力金を支給。(R3実績:5,000千円)
33	長野県クラスター対策チーム派遣事業	直接	新型コロナウイルス感染症の集団的な感染が発生した施設等へ、専門的知識を有する医師等で構成された対策チームを派遣し、当該施設内における感染拡大を防止。(派遣実績:44回)

事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課
-----	---------	----	-------	-----	--------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	感染症調査予防事業	29,119 千円	13,241 千円	391,239 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	感染症発生動向調査事業	直接	感染症の発生状況を収集・分析するため、届け出医療機関(70件)への協力謝金や、環境保全研究所で行う検査の医薬材料を購入。(検査実績136件)
2	感染症流行予測調査事業	直接	インフルエンザや麻疹・風しん等の感染症の流行予測を行うため、保健所が実施する検査に係る医薬材料を購入。(のべ821検体の検査を実施)
3	感染症健康診断等予防対策事業	直接	インフルエンザ様疾患の集団発生の状況把握のため、環境保全研究所が行う検査に係る医薬材料を購入。(集団発生の事例がなく、実績なし)
4	予防接種後健康状況調査事業	直接	予防接種後の被接種者の健康状況について情報を収集した。(11医療機関から607名の健康状況情報を収集)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	結核対策事業	62,478 千円	41,948 千円	38,754 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	結核健診事業	直接	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施するため、医薬材料を購入。(接触者健診708件実施)
2	結核健診事業	委託	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施。(接触者健診195件、管理検診108件実施)
3	結核医療費負担事業	直接	通院患者及び入院勧告患者に対して医療費の公費負担。(入院医療費16,270千円、通院医療費1,410千円)
4	結核健康診断補助事業	補助金	私立学校及び私立施設が行う定期健康診断に要する費用について、補助する。(143事業者 8,509千円)
5	結核定期病状調査事業	直接	結核の二次感染等を防ぐため、結核登録者のうち病状把握が困難な者について、医療機関等から登録患者の病状を把握。(181件依頼。全件報告あり)

事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課
-----	---------	----	-------	-----	--------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	結核特別対策事業	437 千円	48 千円	133 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	結核予防総合事業	直接	結核患者の服薬確認(DOTS)を徹底するため、服薬手帳を作成し、患者に配布。(300部作成、患者全員に服薬確認実施)	
2	結核予防技術者研修事業	直接	結核業務に従事する保健所職員を研修に派遣。(3名参加)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	特定感染症対策事業	6,481 千円	3,017 千円	4,153 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	直接	保健所が行うHIV等の性感染症の無料検査に係る医薬材料を購入するとともに、エイズ予防に関する啓発パンフレットを作成。(4,000部) 医療従事者感染症対策研修会については、新型コロナウイルス感染状況を鑑み実施せず。	
2	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	委託	性器クラミジア感染症等検査及び医療機関等における針刺し事故発生時に使用する抗HIV薬の配備を実施。(検査委託先:北信臨床、抗HIV薬配備委託先:薬剤師会会営薬局)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
6	難病対策事業	163,128 千円	135,265 千円	135,289 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	ウイルス肝炎対策事業費	直接	ウイルス肝炎診療懇談会を開催するとともに、ウイルス肝炎患者の経済的負担軽減を図るため、慢性肝炎、肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費の一部を負担。(医療費負担実績:国庫補助対象83,875千円、県単事業対象13,864千円)	
2	ウイルス肝炎対策事業費	委託	肝疾患相談支援センター事業、ウイルス肝炎検査事業等を実施。	

事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課
-----	---------	----	-------	-----	--------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
7	ハンセン病対策事業	167 千円	70 千円	70 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	ハンセン病対策事業費	直接	ハンセン病に関する正しい知識の普及や療養所施設の入所者への支援を図るため、社会交流(里帰り)事業や療養所訪問(2か所)を実施。(訪問:1か所、里帰り:希望がなく実施せず)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
8	軽症者等受入施設等確保事業	0 千円	738,151 千円	5,181,366 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	宿泊療養施設の借上げ	直接	県内4地域において施設の借上げを実施。
2	宿泊療養施設の運営委託	委託	県内4地域における宿泊療養施設の運営の委託を実施。(東北信地域委託先:東武トップツアーズ株式会社 長野支店、中南信地域委託先:株式会社JTB 長野支店)
3	自宅療養者に対する支援体制の整備	委託	自宅療養者の健康観察等を行う健康観察センターの設置・運営業務の委託を実施。(委託先:株式会社ヒト・コミュニケーションズ)
4	自宅療養者のための電話診療等体制の整備	直接	自宅療養者に対して電話診療等を行う医療機関に対し協力金の支給を実施。